



四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

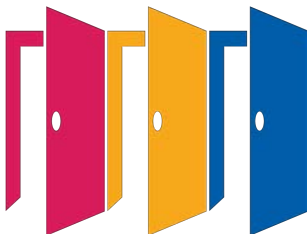
例会場：厚木アーバンホテル

例会日：毎週金曜日 12：30～13：30

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階

厚木県央ロータリークラブ令報

http://www.ken-ou-rotary.gr.jp/ e-mail : info@ken-ou-rotary.gr.jp TEL : 046-222-5811 Fax : 046-222-5821



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度RIテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」

2020-21年度厚木県央RCテーマ 「奉仕活動を通して地域社会に貢献する」

会長 高畑幸夫 副会長 神崎 進 幹事 能勢健一

第1028回例会(2020年9月25日)

■点鐘 …高畑幸夫会長

■斉唱 …手に手つないで

■ゲスト紹介



RI第2780地区第6Gガバナー補佐
辻 彰彦様(大和中RC)

■会長報告

◎ガバナー事務所 より

- ・インドからの緊急国際支援要請に対するご協力をお願い

◎座間RC より

- ・ロータリーは機会の扉を開く 企画書

■幹事報告

◎例会変更

- ・大和中RC
10月8日(木) 取り止め例会
10月15日(木) 通常例会に変更
10月22日(木) 通常例会に変更

■スマイル

RI第2780地区第6Gガバナー補佐 辻 彰彦様(大和中RC) 皆様、こんにちは！本日は、今年度の久保田ガバナーの方針、目標をご案内させていただきます。厚木県央RCのみな様と共に一年楽しく活動したいと考えますので、何卒よろしくお願い致します。

高畑幸夫会長・能勢健一幹事

国際ロータリー第2780地区、第6グループガバナー補佐の辻彰彦様、本日はようこそお越しいただきました。来月のガバナー公式訪問を控え、貴重なお話しをどうぞよろしくお願い致します。

スズメバチ研究者 松本 豊君

先週のスマイルで紹介したスズメバチの番組、皆様は当然見なかったでしょうが、私ははっきり見ました。お隣の台湾にも危ないのがいるそうです。名前は「ハラグロスズメバチ」と言うそうで私の廻りにもたくさんいそうな気がします。まあ我がクラブには居ないと思いますが！

春日清則君・難波真奈美君

本日は辻AG御指導宜しくお願い致します。

井 寛明君・川名貴之君

ガバナー補佐辻彰彦様、本日はお忙しいところお越し下さいまして誠にありがとうございました。昨年は大変お世話になりました。今年度はガバナー補佐としてご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

森 志朗君・神崎 進君・森 正章君・伊藤 一君

関原敏文君・荻野洋一君・村松マユミ君・新川 勉君

和田貴樹君・武藤元秀君・北村正敏君

スマイルBOX

■会長タイム



皆様こんにちは。先週の土曜日から火曜日までの4日間の4連休皆様どの様に過ごされたでしょうか？愛川町の河原ではBBQや釣り遊びまた、キャンプを楽しむ人達で河原はあふれ返っておりました。東名高速では大和トンネルから東京インターまでと30キロ越えの渋滞が連日のおこり皆様ステイホームでかなりストレスが溜まっていたのでしょうか？今後のコロナ感染が心配です。

さて、話は変わりますが今月9月9日に厚木中クラブがホストでレンブラントホテルにて会長幹事会がありました。その中の議題で座間RCさんの寄付の募りのお話があり、皆様にご報告いたしまして、寄付のお願いをさせていただきます。このように企画書もございますので端折ってご説明いたします。

議題提出者 座間RC

議題名 ロータリーは機会の扉を開くに関する件

会長名 溝渕信一

事業背景 昨年武漢で発生した新型コロナウイルス

スが日本にも1月に感染事例があり家族内感染も多くなってきたこの頃両親が感染し子供たちの行き場がなくなった子たちの受け入れを座間市にある成光学園(児童養護施設)さんが県から依頼を受け部屋の一部を開放し優先して受け入れをしてくれています。児童相談場は市町村長が直接的に受け入れるため、運営費の問題はありません。しかし児童養護施設は受け入れ要綱が無く無償で受け入れをせざるを得ません。隔離部屋にはテレビ・遊具・冷暖房設備も必要です。

座間RCでは会員が持ち合って遊具やテレビなどの現物寄付をしております。どうか、ロータリークラブで何かできないかと思っております。皆様のロータリアンとしての温かい気持ちを宜しくお願いいたします。まず会長の私が寄付いたします。強制ではございません。ご賛同いただける皆様は是非宜しくお願いいたします。

■今日のお花



アルストロメリア(南アメリカ)

花言葉(持続・未来への憧れ・気配り)

■例会「ガバナー補佐訪問」

担当：高畑幸夫会長

国際ロータリークラブ第2780地区第6グループのガバナー補佐でらっしゃいます、辻彰彦様にお越しいただきました。

久保田ガバナーの公式訪問時には、地区方針などは話さず、なるべく会員とのコミュニケーションを大切にしたいとの事で、辻AGに地区方針・地区目標などをご説明していただきました。久保田ガバナーの横顔をご紹介いただいたり、辻AGご本人のお人柄も伺える貴重な時間になりました。』





国際ロータリー第2780地区

2020-21年度方針 ガバナー公式訪問に備えて



国際ロータリー第2780地区
第6グループ ガバナー補佐 辻 彰彦

RID2780 2020-21 年度

Rotary 

本日のご案内

<ガバナー公式訪問に備えて>

AG自己紹介



ロータリーは機会の扉を開く

2

2020-21 年度RI 会長

ホルガー・クナーク氏

ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ

RI 会長テーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」



ロータリーは機会の扉を開く

『楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること (together) です。集まれば、より活動的になることができます。ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉 (together) であることも、驚くことではありません。』

【ロータリービジョンの声明】
『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』
「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.」



3

2020-21 年度RI 会長



5分マスター

ホルガー・クナークRI会長スピーチ



ロータリーは機会の扉を開く



4

RID2780 2020-21 年度

ガバナーご挨拶

Rotary 

「TOGETHER～もっと自由に」

今年度ホルガー・クナークRI会長は、『ロータリーは機会の扉を開く』をテーマに選びました。この数か月の経験を経て一層、この言葉が意味すること、指し示す方向、皆さんもお分かりのことと思います。その扉は無数にあります。そして、その鍵を持っているのは皆さんです。すでに一つ私たちは新しい扉を開きましたね。まだまだたくさんある扉を、また一緒に開き、その先にある壮大な世界と一緒に体験しましょう。2020-21年度が、ロータリーにとって、あなたにとって素晴らしい未来に向けて入口でありますように。



ロータリーは機会の扉を開く



国際ロータリー第2780地区
2020-21年度ガバナー
久保田 英男

5

RID2780 2020-21 年度

ガバナー略歴

2005年9月 鎌倉ロータリークラブ入会
2006年～2008年 地区ロータリー委員会 委員
2008年～2009年 地区ロータリー委員会 副委員長
2009年～2010年 鎌倉ロータリークラブ 幹事
2010年～2011年 地区ロータリー委員会 副委員長
2011年～2012年 地区ロータリー委員会 委員長
2012年～2013年 地区副幹事
2013年～2014年 地区ロータリー財団補助金推進委員会 委員長
2014年～2015年 鎌倉ロータリークラブ 会長
2015年～2016年 第2グループガバナー補佐
オンツール国際大会委員会 委員
地区財団補助金委員会 委員長
地区ロータリー財団100周年委員会 委員
地区青少年奉仕委員会 委員長
インター・ロータリー委員会 委員長
地区危機管理委員会 委員
2018年～2019年 カバナー・ミニー
地区戦略計画委員会 委員 地区危機管理委員会 委員
ガバナー・エレクト
2019年～2020年 オンツール国際大会 委員長
地区戦略計画委員会 委員 地区危機管理委員会 委員
地区立法家検討委員会 委員 姉妹地区委員会 委員
地区 IT 委員会 委員

ボールドウィック・ロー・マルチプルフォロー・ベネファクター・メジャー・ドナー ボールドウィック・ロー・マルチプル
米山功男 さん



国際ロータリー第2780地区
2020-21年度ガバナー
久保田 英男

【生年月日】
昭和 35 年 (1960 年) 11 月 20 日
【職業分類】
菓子製造販売
【会社役職】
株式会社豊島屋 常務取締役

6

RID2780 2020-21 年度

地区目標




7

RID2780 2020-21 年度

1.RI会長テーマおよび ビジョン声明・戦略(行動)計画・強調事項の推進

先述の通り2020-21年度のRI会長テーマ『ロータリーは機会の扉を開く』の意味を考え、それに相応しい活動を期待しています。

「ロータリーのビジョン声明」及び「ロータリーの戦略的優先事項」「ロータリーの中核的価値観」の理解と周知をお願い致します。そして、5年後のようなクラブになりたいかを自問しクラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考える為の「クラブ戦略(長期)計画会議」の実施を推奨いたします。




8

RID2780 2020-21 年度

2.RIロータリー賞への積極的なチャレンジ

ロータリー賞の各項目は、客観的に自クラブを評価できるように設計されているので、クラブの強み弱点を把握できる利点があり、積極的に活用し、クラブの活性化活用してもらいたい。



ロータリー賞は、表彰の為にあるのではなく、目標設定・目標管理にあります。先に推奨した「クラブ戦略(長期)計画会議」を開催し、クラブのみんなで目標を設定するのでもいいでしょう。目標や目的をクラブ内で共有することは、必ず結果を一層強くします。

9

RID2780 2020-21 年度

3. 会員増強・会員維持・クラブ拡大

- ・地区会員数を2021年7月1日時点で、2500人以上に
- ・女性会員比率の向上
- ・新クラブ（衛星クラブ等を含む）の拡大



ロータリーは「世界を変える行動人」の集まりで、そこには性差(LGBTQも含まれて当然です)は不要だと思っています。同様に「若い会員」もそう感じます。不必要な形容詞をつけずクラブにとって必要な人材を迎えましょう。

10

RID2780 2020-21 年度

4. 青少年育成の推進



- ・インターアクト、ローターアクトクラブへの支援および協力の強化。また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励する。

・インターアクト、ローターアクトの新クラブ拡大 厳しい状況

・RYLA開催(若い世代のリーダーを育成・発掘) 本年度は実施せず

・青少年交換事業の理解と協力 本年度は実施せず

ロータリーは「同列」「公平」「平等」という立場が明確でありながら、時には若者に寄り添う「兄弟」「親子」「子弟」であり、若者に対して「尊敬」「感謝」を隠すことなく表します。多感な世代の若者にとっては、この距離感での関係とそこで得る経験は、将来において大きな財産になります。

11

RID2780 2020-21 年度

5. クラブの戦略(長期)ビジョン策定の推進

戦略計画を基礎として、各クラブでは、今後5年間程度の中期ビジョンを策定しクラブの将来のあるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立てていただきたい。その為に、戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、またはより活発に活動して頂きたい。

単年度ではなく、長期的な計画も必要です。そして、それは、大き過ぎず、抽象的ではなく、誰もイメージできることが重要だと思います。

一方、小さな成功の積み重ねが大きな目標の達成につながります。未来の成功の為に、今年度はただ準備をするだけ、計画を立てるだけでは不十分です。今年度、何を行い、それをどのように実現するか、も考え実行して下さい。

12

RID2780 2020-21 年度

6. 奉仕活動推進のための ロータリー財団への年次寄付



- 目標1：地区年次寄付50万ドル
- 目標2：ゼロクラブゼロの継続と全会員寄付の達成
- 目標3：恒久基金 70,000ドル増
- 《目安》 年次寄付 200ドル/1名
- 恒久基金 1,000ドル以上/1クラブ

年次寄付目標と恒久基金の増額目標は、当地区においての10万ドルの地区補助金原資(3年後)、4名の奨学生排出、毎年1~3件のグローバル補助金事業が可能になるようそのための原資確保です。

寄付の大小ではなく各クラブ、全ロータリアンが、ロータリーとロータリー財団の目的と意義を理解し、協力することを目的としています。理解なく寄付するのは、そのお金は十分活かされるとは思いません。みんなが進んで協力する意識を作り上げたいと願っています。

13

RID2780 2020-21 年度

7. 米山奨学会寄付



寄付目標：5000万円(20,000円以上/1名) 普通寄付+特別寄付

米山奨学事業ほど、日本ロータリーの国際親善に寄与している事業はないかもしれません。この寄付もロータリー財団への寄付と同様、金額の大小より米山奨学事業への理解を第一に考え、心から日本で学ぶ奨学生の為に、気持ちよく協力いただけるように努めていきたいと思っています。寄付目標は、当地区で出せる奨学生数を確実に維持でき、なおかつ一名でも多く輩出できるよう希望を込めています。

米山奨学生・米山学友会の学生たちと、できるだけ積極的に交流して頂けるとうれしいです。

14

RID2780 2020-21 年度

8. ポリオ根絶の推進



- ・ポリオ根絶キャンペーン促進、ポリオデーの実施
- ・ポリオ寄付の推進(目標 100,000ドル(40ドル/1人))

「ポリオはいつ終わるのか」「まだやるの?」という声をよく耳にします。「あと少しと言ってから何年?」とも言われます。そう思われるのもよくわかります。しかし、『1』と『0』は大きな違いがあります。『1』は2にも3にも増えやがて百万となる可能性があります。『0』が存在しないので、増えることはないのです。その『0』への戦いが続いています。絶対に無理、とあきらめる前に「何が出来るか」真剣に考えましょう。私たちが日本は1980年代にポリオフリーになりました。が今でも子供達にはワクチン接種が続けられています。それは、この地球上にポリオウイルスが存在するからです。根絶すれば予防接種の手間もコストもなくなり、なにより不安から完全に開放されるのです。クーラクRI会長エレクトも「私たちは、世界の子供達にポリオを根絶すると約束しました。約束は必ず果たさなくてはなりません」と語りました。約束を果たすために私たちが出来ることをしましょう。

15

RID2780 2020-21 年度

9. 『1クラブ1プロジェクト』の 継続と奉仕プロジェクト支援

2019-20年度地区方針「1クラブ1プロジェクト」を継続し推奨すると共に、奉仕活動・奉仕プロジェクト実施のクラブ支援体制を整える。

2019-20年度第2780地区杉岡芳樹ガバナーは、昨年のPETSで『1クラブ1プロジェクト』の地区目標を掲げられました。とても素晴らしい具体的なアイデアであり、それはこれこそ単年度で終わらせるスローガンではなく継続してこそ、意義があるのではないでしょうか。2019-20年度に着手できていないクラブも、是非英知を結集し、2020-21年度には素晴らしいプロジェクトを創り上げて下さい。もちろん「従前より当クラブは持っている」というクラブもステップアップ、グレードアップして、頂きたいと思っております。

16



皆様のご活躍を心からご祈念いたします。



■ 四つのテスト



土屋義行君

■ ソングリーダー



関原敏文君

■ 委員会報告



井 寛明君

■ 委員会報告



白井欽一君



■ 出席報告 <会員 38 名、出席対象 38 名>

9月11日例会	確定出席率 81.58%	9月25日例会	出席 27 名 欠席 12 名 出席率 71.05%
		事前メイク： 佐藤拓也君 (9月25日 / 厚木中RC)	

